

# 平成 27 年度 特別養護老人ホーム 鑑石園 事業報告書

## 1. 事業運営の概況

平成 27 年度事業計画に沿い、個別機能訓練の充実を図ると共に、介護保険制度改定における介護報酬への対応を行うことを重点に置き、職員の資質向上の為の研修を繰り返し行った。また、各種委員会においては、各々の担当分野についての検討を重ね、入居者が快適に暮らせる環境作りを目指して、業務内容の改善に向けた様々な取り組みを行った。

毎月の防災訓練をより有意義なものとする為、消防署員の協力を得て訓練内容を見直した他、予告なしの非常呼集訓練を行い、職員の意識改革を図った。

3 年に 1 回の介護報酬改定に伴い、各種加算の見直しを行った。

## 2. 事業計画実施状況

### (1) ケアプラン

#### ① 個別介護支援計画書

各入居者の介護保険認定更新時期に合わせ、毎週水曜日にケアマネジャー・看護師・管理栄養士・介護職員が出席してカンファレンスを行い、個別介護支援計画書を作成した。計画内容については、身体状況に応じて重点項目について見直しを行い、継続的な支援が実施できるよう心掛けた。

#### ② 個別機能訓練

- ・ 専従の機能訓練指導員を配置し、看護師・介護職員の協力のもと、個別機能訓練計画書の作成・見直しを行い、計画に沿った機能訓練を実施した。
- ・ 施設内での機能訓練に加え、気候の良い時期には屋上や園庭の散歩等、外出の機会を増やすことで、入居者の気分転換を図りながら楽しく歩行訓練を行う事ができるよう工夫した。

## (2) 身体拘束廃止に向けた取り組み

- ・ 職員の言葉遣いによってはスピーチロックに当たる場合もある事を再認識する為の研修を行った。意識改革を図った上で、ミーティング等で意見を出し合い、対策について検討を重ねた。
- ・ 身体拘束・スピーチロックの廃止を各職員同士が把握し、研修で意見を出し合う事により身体拘束廃止の意識づけを行った。

## (3) 委員会活動

ショートステイ・デイサービス等、併設各事業と協働で委員会活動を行い、それぞれの年間目標に向けた様々な取り組みを行った。

### ① 安全対策委員会

平成 26 年度まで身体拘束委員会と並行していた安全対策委員会を独立させ、危機管理の意識づけとヒヤリハットの分析を行う事により事故防止に努めた。平成 27 年度における事故報告事例は 95 件、そのうち要受診の事故等により富士市に報告した事例は 7 件であった。事故報告書は介護職員全員が閲覧し、再発防止に努めた。

### ② 業務改善委員会

入居者とのコミュニケーションの時間や内容を継続的に記録するコミュニケーションノートを活用することで、入居者に対する職員の意識を高めた。また施設の環境整備も合わせて改善計画をつくり改善を行っている。

### ③ 排泄委員会(隔月 1 回)

入居者の快適な生活と安眠を保つため、個々の入居者に最適なおむつの選択と、排泄パターンに合わせた時間帯に介助を行った。

### ④ 褥瘡予防委員会(隔月 1 回)

入居者の身体状況に合わせて褥瘡予防の為の体位交換表を作成し、介護職員に周知した。また、クッションを活用し、臥床時及び車椅子乗車時の座位安定に努め、新たな褥瘡の発生を防いだ。

### ⑤ 身体拘束廃止委員会(毎月 1 回)

身体拘束・スピーチロック廃止についての検討内容を基に、全職員に対し身体拘束廃止の為の勉強会を行い、発生した事故内容を検討し、事故発生防止に努めた。

⑥ 感染症対策委員会(隔月 1 回)

インフルエンザ発生時期に合わせて内部研修を行い、園内の消毒と、面会者のマスク着用・手指消毒を徹底すると共に、出勤前の検温を義務付け、外部からのウィルスの侵入防止に努めた。食中毒・その他の感染症については、手洗いや各所の清掃についての勉強会を実施し、食中毒の発生防止に役立てた。

⑦ 給食委員会(隔月 1 回)

管理栄養士が中心となって、嗜好調査の結果に基づく献立や給食内容の検討、配膳・下膳についての工夫、食中毒・ノロウィルスの予防対策等についての検討を行った。

⑧ 喀痰吸引等安全対策委員会(3ヶ月 1 回)

介護職員による口腔内の喀痰吸引等について、安全に実施できるよう、看護師が講師となって内部研修を行った。

(4) 実施事項

① 年間行事

平成 27 年度に行った主な行事は次の通り。

4 月	花見会
5 月	新茶の会、デザートバイキング
6 月	ホーム喫茶
7 月	七夕、納涼祭
8 月	素麺食べ放題、盆供養
9 月	敬老会、彼岸供養
10 月	福祉展見学、福祉祭り参加、運動会
11 月	寿司食べ放題
12 月	クリスマス会、寿司食べ放題
1 月	お屠蘇配り、書初め
2 月	節分
3 月	彼岸供養

② 健康管理

ア. 嘱託医回診

富士岡秋山医院・・・毎週 1 回(木曜日)

イ. 歯科往診

片岡歯科・・・毎週 1 回(土曜日)

ウ. 健康診断

入居者全員を対象に新富士病院にて6月・7月に実施した。

③ 入所判定委員会

近隣地区の民生委員 2 名を含む入所判定委員会を、四半期毎(6 月、9 月、12 月、3 月)に開催した。優先入所基準に基づく採点により入所順位が上位となった待機者について検討し、適正な施設入所に努めた。平成 27 年度の入所者は 10 名であった。

④ 第三者委員会

施設に寄せられた苦情及び苦情に至る可能性の高い事故について、外部の第三者委員 2 名に報告した。

(5) 職員資質の向上

① 外部研修、内部研修

外部研修については、静岡県社会福祉協議会が主催する研修を中心として、年間研修計画に沿って受講することができた。

内部研修については、身体拘束廃止に向けた研修を重点的に行った他、各委員会から提案されたテーマによる研修を順次行った。

② 新人教育

4 月 1 日付で採用した新入職員及び、経験の浅い中途採用職員に対し、法人・施設の位置づけ、事業内容、各事業の関連性、接遇等についての内部研修を行った。

(6) 連絡会議等への参加

① 相談員連絡会(年 6 回)

富士圏域の他の老人福祉施設・老人保健施設等で相談員業務に携わっている職員との情報交換の場として参加し、介護保険制度の改正をはじめ、市の今後の方針等についての情報収集により、業務改善に役立てた。

② 栄養士会(年 6 回)

富士圏域の介護老人福祉施設の栄養士を対象として開催している栄養士会に参加し、献立や調理方法等について意見交換を行う事により、給食業務の改善に役立てた。

(7) 非常災害対策について

6月に消防署員立会いのもと通報、初期消火、避難誘導、搬送訓練を実施した。当施設の訓練内容について助言を受け、不適切な点について改めることができた。毎年行っている夜間想定非常呼集訓練については、事前に実施日を知らせず、施設職員として非常事態発生時に駆けつける際の意識改革を図った。

2月には最小の調理材料と身近な物を使用した炊き出し訓練を実施した。また少人数や介護の経験の浅い人でも入居者を避難させることができるよう、避難用品の選定を行った。

平成27年度 防災訓練実施内容

日	内 容
4月29日(水)	通報、初期消火、避難誘導訓練、新人職員防災訓練
5月30日(土)	通報、地震想定避難誘導訓練
6月24日(水)	消防署員を招いて通報、初期消火、避難誘導、搬送訓練
7月29日(水)	通報、避難誘導訓練、救急救護訓練
8月26日(水)	夜間想定非常呼集訓練、初期消火訓練
9月2日(水)	東海地震想定総合防災訓練、情報伝達、救急救護訓練
10月28日(水)	避難誘導、救急救護訓練(心配蘇生)
11月1日(日)	夜間想定総合防災訓練、夜間通報、避難誘導訓練、AED使用法)
12月19日(水)	夜間想定通報、避難誘導訓練、救急救護訓練
1月27日(水)	情報伝達訓練、地震想定避難誘導訓練、救急救護
2月10日(水)	炊き出し訓練
2月24日(水)	通報、避難誘導訓練
3月23日(水)	情報伝達訓練、地震想定避難誘導訓練、救急救護